協　会　報

日本林業

● 2023年　5月号 ●
発行日：　2023年　5月11日

発行：　一般社団法人　日本林業協会
〒　112-0004
東京都文京区後楽 1-7-12　林友ビル3階
TEL. 03-6801-8931　FAX. 03-6801-8932
編集･発行人　　島田　泰助

第１７回「みどりの式典」における令和５年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰

【林野庁森林利用課緑化推進班】

第17回「みどりの式典」が、４月28日にパレスホテル東京において、天皇皇后両陛下ご臨席の下、開催されました。「みどりの式典」は、「みどりの日」について国民の関心と理解を一層促進し、「みどり」についての国民の造詣を深める「みどりの月間（４月15日から５月14日）」の中心的な行事として開催されています。

式典では、岸田内閣総理大臣から令和５年みどりの学術賞及び令和５年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰の授与が行われました。

表彰状授与（受賞者代表：間伐ボランティア「札幌ウッディーズ」）

40回目となる今年の受賞者は、13の個人・団体です。森林の整備、花きによる緑化、学校緑化、工場緑化、都市緑化、水源保全や自然環境保全の活動等、様々な緑化活動を長年にわたり推進された功労者が選ばれました。

緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰とは

緑化推進運動の実施について、顕著な功績のあった個人又は団体に対し、内閣総理大臣が決定し、表彰を行うものです。

協会からの情報提供は

- **一般向け情報誌**
  『森林と林業』
  （毎月25日発行）
- **会員向け情報誌**
  『協会報日本林業』
  （毎月5日発行）

いずれも土日祭日は繰り下げ発行となります。

目次：

第17回　みどりの式典 緑化推進運動功労者 内閣総理大臣表彰 みどりの学術賞　など	1～3
木材利用推進全国会議 第4回見学会を実施	4～5
林政対策委員会(第3回) 開催される	6
国会･業界 行事日程(4月)	7

令和５年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰の受賞者

個人　・田中（たなか） 政晴（まさはる） 氏（香川県さぬき市）

団体　・間伐（かんばつ）ボランティア「札幌（さっぽろ）ウッディーズ」（北海道札幌市）

・住田町（すみたちょう） 立有住中学校（りつありすちゅうがっこう）　（岩手県気仙郡住田町）

・一戸南小学校（いちのへみなみしょうがっこう） 御所野愛護少年団（ごしょのあいごしょうねんだん）（岩手県二戸郡一戸町）

・特定非営利活動法人（とくていひえいりかつどうほうじん） わたらせ未来基金（みらいききん）（栃木県小山市）

・荒川（あらかわ）グリーングリン（埼玉県大里郡寄居町）

・長岡市立山本中学校（ながおかしりつやまもとちゅうがっこう）（新潟県長岡市）

・富士通株式会社（ふじつうかぶしきがいしゃ）　沼津工場（ぬまづこうじょう）（静岡県沼津市）

・愛知用水土地改良区（あいちようすいとちかいりょうく）（愛知県大府市）

・特定非営利活動法人（とくていひえいりかつどうほうじん） 田原菜の花エコネットワーク（たはらなはな）（愛知県田原市）

・奈半利町（なはりちょう） 立奈半利中学校（りつなはりちゅうがっこう）（高知県安芸郡奈半利町）

・大牟田生物愛好会（おおむたせいぶつあいこうかい）（福岡県大牟田市）

・熊本市立芳野小学校（くまもとしりつよしのしょうがっこう）（熊本県熊本市）

写真：内閣府提供

以下に、森林に関する緑化活動に功績のあった受賞者を中心に紹介いたします。

〇田中（たなか）　政晴（まさはる） 氏

所有林の経営を行いながら、優良材の生産や新たな施業方法に積極的に取り組むほか、林業研究会を設立するなど地域の森林づくりに幅広く貢献。

〇間伐（かんばつ）ボランティア「札幌（さっぽろ）ウッディーズ」

手入れ不足の森林をフィールドに間伐等の整備を進め、地域の森林保全に貢献するとともに、森林づくりや森林ボランティア活動に対する市民の理解醸成に貢献。

〇住田町（すみたちょう） 立有住中学校（りつありすちゅうがっこう）

学校林の整備を行うとともに、中学校課程３年間を通した森林環境学習を実施し、青少年の森林・林業に対する理解醸成に貢献。

〇愛知用水土地改良区（あいちようすいとちかいりょうく）

水源地である長野県木曽地域の自治体等と連携して植樹や間伐等に取り組むほか、啓発活動により森林の水源涵養機能への理解を促進し、緑化意識の醸成に貢献。

〇大牟田生物愛好会（おおむたせいぶつあいこうかい）

自然観察教育会や調査委を定期的に行い、そのデータを広く公開するほか、小中学生を対象とした自然環境教育や里山保全活動に尽力し、自然環境の保全に対する市民の理解醸成に貢献。

※各受賞者の詳しい功績・活動の様子については、毎月、林野庁情報誌『林野』にてご紹介します。

情報誌『林野』　https://www.rinya.maff.go.jp/j/kouhou/kouhousitu/jouhousi.html

令和５年みどりの学術賞の受賞者

・倉田（くらた）のり博士（遺伝育種学、植物ゲノム科学、植物生理学）
国立遺伝学研究所名誉教授、総合研究大学院大学名誉教授
受賞功績：「イネのゲノム情報基盤の確立と生殖・多様性研究」に関する功績

・津村義彦（つむらよしひこ）博士（森林遺伝学、分子生態学）
筑波大学生命環境系教授/山岳科学センター長
受賞功績：「森林樹木の遺伝的地域性の解明と森林の遺伝的保全管理への展開」に関する功績

受賞者代表挨拶（倉田博士）

表彰状授与（津村博士）

みどりの学術賞とは

「みどりの学術賞」は、国内において植物、森林、緑地、造園、自然保護等に係る研究、技術の開発その他「みどり」に関する学術上の顕著な功績のあった個人に授与する賞です。「みどりの日」（５月４日）について国民の関心と理解を一層促進し、「みどり」についての国民の造詣を深めることを目的に平成18年に創設され、これまでに34名が受賞されています。

みどりの学術賞：https://www.cao.go.jp/midorisho/

～ご案内～

令和５年７月29日（土）に、日本科学未来館（東京都江東区）においてみどりの学術賞受賞記念トークイベントが開催されます。みどりに関する研究をわかりやすく伝える活動を行う「みどりの科学コミュニケーター」が、受賞者とともに、研究の内容や魅力をひもときます。

※イベントの詳細は、日本科学未来館ホームページ（https://www.miraikan.jst.go.jp/）にて後日公表予定です。

木材利用推進全国会議　第4回見学会に参加

４月19日(水)及び20日(木)の2日間にわたって、東京都、高知県及び（公社）経済同友会が事務局を担う「木材利用推進全国会議」が主催する第４回見学会に参加した。

講演される隅修三氏

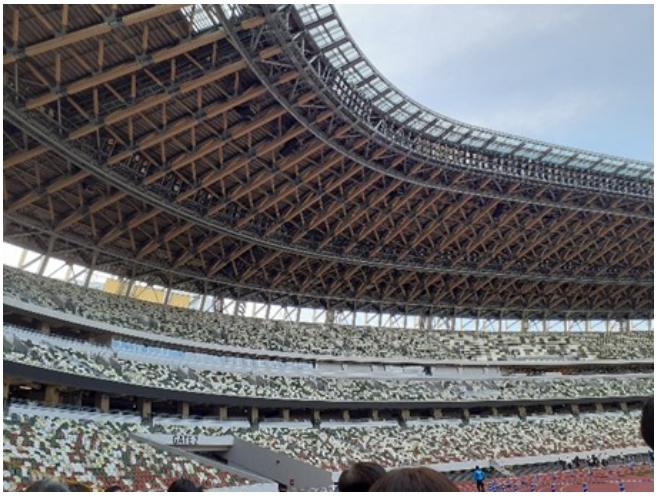
過去３回の見学会では、高知県、秋田県及び岡山県の中・大規模の木造建築事例に加え、木質バイオマス発電所や集成材工場などの見学だったが、今回は木材の最終消費地として、中・大規模の木造建築や混構造建築の事例が多くある関東圏での見学会となった。

見学対象は、①ジューテックホールディングス株式会社・新本社ビル、②国立競技場、③住友林業株式会社・筑波研究所、④新柏クリニックの４施設。②の見学後には、「ウッドチェンジ協議会」会長の隅修三氏による講演と懇談会もセットされ、隅氏がこれまで取り組んでこられた経済界での活動実績と将来に向けての都市部での木造・木質化の課題や展望について懇切丁寧な講演が行われた。

４つの施設見学では、それぞれの木質部材の開発経過や使用に当たっての技術的な工夫、新たな工法の開発等に関する詳細な説明が各施設の担当者から行われ、個性的なデザインの採用や技術的な課題をクリアした経緯等が紹介され、限られた時間内での盛りだくさんの視察ながら、参加者一同、大いに感動しつつ、極めて収穫の多い満足の行く２日間の有意義な見学会となった。

ジューテックホールディングス株式会社・新本社ビル

国産木材を 207.3m3 使用し、「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」の最高ランク★★★を取得した環境配慮型ビル。鹿島建設が開発した「純木質耐火集成材:FR ウッド」を構造材として採用(燃え止まり層にスギ節あり材使用でコスト減、仕上げ材に多様な樹種可能、標準工法の採用が特徴)。



国立競技場

全体(屋根、軒庇、情報の庭等)で約 2,000m3 の木材を使用。軒庇(のきびさし)には 47 都道府県からの森林認証材を調達し、スタジアムの方位に応じて配置。また、屋根鉄骨には鉄骨と木材を組み合わせたハイブリット構造を採用し、国産木材(森林認証を取得したカラマツ(下弦材)、スギ(ラチス材))を積極的に活用。

住友林業株式会社・筑波研究所新研究棟

2019 年に竣工した木造 3 階建てビル。木の可能性を高める技術開発を紹介するギャラリーのほか、実証フィールドとしても利用。耐震要素の壁柱は、縦横 1,200mm、厚さ 300mm の LVL(単板積層材)のブロックを縦方向に市松状に積み上げ、その中を貫く鋼棒に引張力をかけて基礎に緊結することで水平力に抵抗するポストテンション耐震技術を採用。構造体の木を現しとすることで温かみのある空間を実現。

新柏クリニック

より一層の安全・快適な診療環境づくりをめざし、㈱竹中工務店が開発した耐火集成木材「燃エンウッド」を採用した”森林浴のできるクリニック”を平成 28 年 2 月に建築。連続した門型の柱・梁フレームと木質仕上げ材を用いた内外装によって、視覚的なあたたかみだけでなく、木の柔らかさや香りを体感でき、安らぎと安心感をもたらす、これまでにない快適な療養環境を創出。

林政対策委員会(第3回)開催される

自民党の林政対策委員会(中谷委員長)の令和５年度第３回目が去る４月１８日(火)14時45分から党本部で開催された。

中谷(なかたに)委員長、江藤(えとう)総合農林政策調査会長、武部(たけべ)農林部会長のご挨拶の後、事業者・団体ヒアリングに入り、まず、「公益社団法人日本建築士会連合会」の三井所清典(みいしょ きよのり)名誉会長から、『建築物の木材利用に関する取組について』と題して、続いて、「ツーバイフォー建築における国産木材活用協議会」の林 哲也(はやし てつや)事務局長、新納 徹洋(にいろ てつひろ)業務委員長及び田中 暁(たなか あきら)事業推進統括部長から、『ツーバイフォー建築における国産材利用の課題』に関する発表が行われました。

三井所名誉会長からは、新国立競技場における”屋根構造の木造化”の提言、埼玉県での中大規模木造建築技術者養成講座への協力、「木の建築賞」の開催など、積極的な活動成果が報告された。

一方、ツーバイフォー建築における国産木材活用協議会からは、「乾燥精度が高く木肌が美しい、品質の良い国産材供給」をめざし、「部材開発による国産材使用部位の拡大」を進め、「大規模建築物等への国産材利用の拡大」に取り組んでいく方針が表明された、

その後、質疑に入り、「木造建築の設計ができる設計士の育成対策」、「木造は高いとの指摘への対応」、「国産材の安定供給の対応」について質問があり、三井所氏からは、「構造設計のできる設計士が都市部に集中している実態の改善」、「大学での木造建築課程や講師の拡充」、「中高層建築部材への一般流通材の一層の活用」が必要と回答されるとともに、ツーバイフォー協議会からは、「国産材価格の引き上げや新部材開発による供給安定化による信頼性の向上」などに取り組む重要性が指摘された。

第3回委員会の様子

注)各回で配布された資料等を希望される場合は、(一社)日本林業協会事務局にご連絡ください。

世界伐木チャンピオンシップ種目別で金･銀メダル獲得！
日本選手団として史上初めての快挙達成！

2023年4月19日～ 22日の間で、エストニア・タルトゥにおいて開催された第３４回ＷＬＣ(世界伐木チャンピオンシップ)では、ヨーロッパを中心に２０ヵ国、合計９３名の選手が参加し、５種目（伐倒、ソーチェン着脱、丸太合せ輪切り、接地丸太輪切り、枝払い）の個人種目およびリレー種目の団体戦が行われ、熱い戦いが繰り広げられた。

日本からは、第４回日本伐木チャンピオンシップ（ＪＬＣ）の各クラスの上位５名が出場したが、女性クラスの丸太合せ輪切り競技で、岡田望(おかだのぞみ)選手(青森県・ウッドホープ株式会社)が金メダルを、また、髙山亮介(たかやまりょうすけ)選手(長野県・有限会社矢守(やもり)産業)が同競技で銀メダルを獲得した。

日本人選手がＷＬＣにおいてメダルを獲得するのは史上初の快挙であり、さらに日本チームとしても開催国エストニアに 続く６位入賞という好成績を収め、華々しい成果を遂げた記念すべき大会となった。

令和　5年　4月　国会の動き

《国会関連》
3日（月）参・決算委（令3年度決算外2件）
4日（火）衆・本会議（防衛3文書　報告･質疑）
6日（木）衆・本会議（防衛力財源確保特措法案　趣説･質疑）
7日（金）衆・本会議（装備品開発生産基盤強化法案　趣説･質疑）
　　参・本会議（新型インフルエンザ対策特措法案　趣説･質疑
12日（水）参・本会議（地域工業交通活性化再生法案　趣説･質疑）
　　衆・農水委（合法伐採木材利用促進法案　質疑）
13日（木）衆・本会議（合法伐採木材利用促進法案　可決、出入国管理法案　趣説･質疑）
　　参・農水委（一般質疑）
14日（金）参・本会議（脱炭素以降推進法案　趣説･質疑）
17日（月）参・決算委（令3年度決算外2件　省別審査③
18日（火）衆・本会議（孤独・孤立対策推進法案　趣説･質疑）
　　参・農水委（一般質疑）
19日（水）参・本会議（健康保険法案　趣説･質疑（総理出席））
20日（木）衆・本会議（空家対策推進特措法案　趣説･質疑）
21日（金）衆・本会議（日本語教育施設認定方案　趣説･質疑）
　　参・本会議（フリーランス取引適正化法案　趣説･質疑）
24日（月）衆・決算委（平成30年度決算外2件、令和元年度決算外2件）
25日（火）参・農水委（合法伐採木材利用促進法案　質疑）
26日（水）参・本会議（合法伐採木材利用促進法案　可決、防衛３文書　報告･質疑、総理出席）
27日（木）衆・本会議（デジタル社会形成基本法案　趣説･質疑）
　　衆・農水委（一般質疑）
28日（金）参・本会議（マイナンバー法案　趣説･質疑）

《政党関連》
7日（金）自・政調/林政対策員会（森林･林業･木材産業を取り巻く昨今の情勢・ヒアリング-三好西部森組（徳島）ひむか維新の会（宮崎）
12日（水）自・政調/林政対策委員会（ヒアリング - 諸岡･茨城、パナソニック･大阪府、ナイス・神奈川、山長商店・和歌山）
18日（火）自・政調/総合農政/農林部会（令和4年度農業白書、森林･林業白書について）
19日（水）公・農林役員部会（農業白書、森林･林業白書、水産白書について）
26日（水）自・政調/林政対策委員会（ヒアリング - 建築士会、ツーバイフォー国産材協議会）

令和　5年　4月　業界の動き

3日（月）独立行政法人農林漁業信用基金林業信用保証に係る保証受付期間の延長等 発表
4日（火）森林総合研究所リリース「ニホンジカの過去10万年の個体数増減を解明」
13日（木）林野庁、漫画「サザエさん」の著作権を有する長谷川町子美術館とサザエさん一家に森林資源の循環利用の普及啓発活動を行う「森林の環応援団」を委嘱
13日（木）国土緑化推進機構が、第32回みどりの文化賞を特定非営利活動法人の森づくりフォーラムに授与すると発表
17日（月）林野庁が令和5年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」の受賞者を発表
22日（土）宮崎県でG７農業大臣会合が開催（23日も、林業関係では、再生可能な資源である木材を循環的に利用することの有用性等について議論）
25日（火）林政審議会開催（令和4年度森林及び林業の動向（案）及び令和5年度森林及び林業施策（案）　について
27日（木）第17回「みどりの式典」開催
28日（金）令和５年春の褒章及び勲章の受賞者発表